



医療法人慈孝会 福角病院

地域連携室です。

【インターネット回線（Wi-Fi）環境が整いました】

一般的な約束事はありますが、
ご希望される患者様は、ご使用いただくことができます。

当院へ患者様を紹介してくださる際のひとつのご参考にして
頂ければ幸いです。



『忙しいとは心を亡くすこと』

脳神経外科 角南 典生

今日も患者さんが多かった。疲れた。でも外来を担当することは嫌いじゃない。

「お疲れ様です」

患者さんが多かろうと少なかろうと外来が終われば、必ずナースと事務員が言ってくれる。

「きょうもいい外来ができました。ありがとう」

3分間診療という言葉は「3分間はまず話を聞くように」と理解している。実践することはかなり難しい。でもたまに10分も患者さんの言うことを聴くこともある。聴いてもらいたい一心で外来へやってこられる患者さんも多い。外来では患者さんが僕の診察を待っていてくれるのだから、それに応えたいという気持ちで診察をしている。

自分がかかる時はゆっくり話を聞いてもらって、じっくりと診察してもらいたいと思っている患者さんは多い。自分が受けたい診療をしてあげるのが、医師としての良心だ。

忙しいとは“りっしんべん”に“亡”。すなわち心を亡くすと書く。忙しくなると、医療に携わっているという心を亡くしてしまうことがある。患者さんを診る時は一人ひとり真摯に向かい合い、丁寧に話を聞くことが大切だ。そういう気持ちは良くも悪くも患者さんにも伝わる。

しかし、それができないときもある。病室で臨終を迎えそうな患者さんがいたり、緊急手術がもうすぐ始まる時に外来に来られた患者さんは運が悪い。そういうときは次の受診のときはしっかり時間をとろうと思うので、カルテにその旨を書いておく。

「この間は申し訳ありませんでした。きょうはゆっくり診察時間があります。調子はどうですか？」

「お忙しいのにこちらこそ申し訳ありませんでした」

こう言ってくると、いい患者医師関係だなと心からうれしくなる。

とにかく心を亡くさない診療をいつまでも続けたい。



角南典生

【回復期リハビリテーション病棟 入退院状況 (2020年7月末現在)】

- ①退院許可から当院転院までの平均日数(過去3か月間)… 6.0日
- ②在宅復帰率(過去半年間)…………… 79%
- ③疾患別割合(7月) …… 脳血管 65%
- 運動器 26%
- 廃用症候群 2%

☆診療情報提供書を確認させて頂きましたら、医師等と受け入れについて速やかに検討し、お返事をさせて頂きます。

診療科	内科・外科・消化器外科・形成外科・ 脳神経内科・脳神経外科・ リハビリテーション科	ベッド数	回復期リハビリ病床(57床) 医療療養病床(57床)
------------	---	-------------	-------------------------------

回復期リハビリテーション病棟

回復期リハビリテーションを要する疾病	入院期間 (算定上限日数)
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症又は手術後、義肢装具訓練を要する状態	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷、頭部外傷を含む多部位外傷の発症又は手術後	180日
大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節、2肢以上の多発骨折の発症又は手術後	90日
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後	90日
股関節又は膝関節の置換術後	90日
大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後	60日

●回復期リハビリテーションとは
脳血管疾患又は大腿骨頸部骨折等の急性期治療終了後の患者様に対して、日常生活動作向上による自宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に行う病棟です。自宅復帰を目標に医師・看護師・介護士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚療法士・管理栄養士・相談員が一体となり、患者様各々に合ったリハビリテーションを365日提供します。また、医療・福祉サービス等を提供している機関との連携を行い、自宅復帰を支援しています。

医療療養病床

- 医療** 医学的立場から患者様一人ひとりの心身の状況をきめ細かく観察し、病状及びそのおかれている環境の的確な把握に努め、適切な医療・ケアを提供いたします。また、利用者とそのご家族に対して心のケアも心がけています。
- 看護・介護・食事** 利用者の自立と生活の充実を支援できるように、医学的管理の下に、患者様一人ひとりに適した看護・介護計画を作成しています。そのプランに基づいて、離床・入浴・排泄などのお世話及び日常生活リハビリテーションを、質の高い看護・介護技術をもって提供いたします。食事に関しては、栄養状態の的確な把握・管理に加えて、食を通じての心の交流・自立への援助などを行っています。
- リハビリテーション** 病気や怪我の後遺症により障害をきたした患者様の残存能力を、運動療法・作業療法・言語聴覚療法などの総合的なリハビリテーションにより引き出すことで、心身機能の回復とともに生活全般の活性化を目指しています。また、病院や在宅を含めた地域社会で、質の高い生活が送れるように住宅改修・訪問リハビリなどの在宅支援も積極的に行っています。さらに、介護予防を目的としたマシントレーニング(パワーリハビリ)なども実施しています。

●外来案内(診療時間)

	平日	第1土曜日のみ	休診日
午前	8:30~12:00	8:30~12:00	第2・3・4・5土曜日、 日曜日、祝祭日
午後	13:00~17:00	13:00~17:00	

※内視鏡検査室を完備し、認定医による、胃、十二指腸ファイバー大腸ファイバーを実施しています。
内科、脳神経内科、脳神経外科、形成外科(手の外科)の専門医による診療を実施しています。

院用バス時刻表

●病院無料定期バスを下記の通り運行していますのでご利用ください。

病院発	9時30分	13時30分	16時10分
JR堀江駅発	9時40分	13時40分	16時20分

※第2・3・4・5土曜日、日曜日、祝祭日は運行していません。

相談員：辻中聡美・松本詩織・日野 仁(回復期リハビリ病棟)
和田千佳(医療療養病棟)

看護師：三井稲子・上岡かよ子

ケアマネ：平田美穂子(居宅介護支援事業所『福角の里』兼務)

理学療法士：二宮勇樹・門田亜巳(訪問看護ステーション『福角』兼務)

代表：黒河文博

☎地域連携室 089(978)7756 ※Fax 兼用